

南方熊楠

（幼少）

生物學者、民俗學者。慶應二年四月十五日（待國生

れ、昭和十六年十一月二十九日歿（一六七〇—一九四一）。號不毛先生、紅夢

樓主人。明治十九年アメリカ公、二十五年イギリスへ轉じて菌類、人

類學等々を研究。二十二年歸國して和歌山縣田邊に定住。生物學、民俗

學等の研究に従事。昭和四年 天皇の訪ひ（おとが）を受ける。全集一種刊。

著書『南方閑話』（本山桂川編、大正十五年一月、千五百坂木書店出

版部「閑話叢書」）、『南方隨筆』（大正十五年五月、千五百岡書

院）、『續南方隨筆』（大正十五年十一月一日岡書院）、『南方隨筆』

（昭和十八年）二月十五日萩原屋文館）、『美少年論——名同性色情

史』（紅夢樓主人名、昭和二十七年二月伊藤竹軒刊）等。

文獻、中山太郎著『（學界）南方熊楠』（昭和十八年一月、千五百畠山

房）、飯倉昭平編『南方熊楠 人と思想』（昭和四十九年九月、千五百半

凡社）、鶴見祐子著『南方熊楠（地球志向の比較学）』（昭和五十六

年一月十日講談社「講談社学術文庫」）、阿井景子著『超人——十八の

國語の道』に『南方熊楠と妻』（昭和二十年十一月、千七百講談社）、

神坂次郎著『縛られた巨人——南方熊楠の生涯』（昭和六十一年六月）

千五百新潮社、再刊。平成二年十一月、千五百「新潮文庫」）、同編『南

方熊楠』（平成七年四月十日新潮社「新潮白本文学アルバム」）等。